



4月1日 日高地域広域公共バス  
運行開始記念セレモニー

それぞれの課題や要望に加え、バスの利用実績を踏まえ、登校バスの新設や既存バス路線の高校乗り入れなど、最大の利用者であります通学生の利便性向上をはじめ、日常利用の利便性向上のため停留所の増設、えりも・苦小牧長距離直行便を設定する一方、将来にわたる持続性の観点から、利用状況を踏まえた中で近接便の統合なども行いました。4月1日からの転換バス運行後も、利用状況やニーズを捉えながら持続的で利便なものとなるような必要な見直しを行っていきますので、地域の皆さまには今回構築したバスを基軸とする日高エリアの公共交通について積極的な利用をお願いします。

# 議会

## - 第1回定例会 -

3月3日に招集された第1回定例町議会は、3月11日、全日程を終えて閉会しました。今定例会では、鳴海町長、山本教育長の行政報告のほか、令和3年度の予算などが審議されました。町長と教育長の行政報告の概要についてお知らせします。



### 町長行政報告

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

##### ○対策本部

「新冠町新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置以来、連日、定例の本部会議を開催し、既に1年が経過しています。

年度末、年度替わりの時期に入り、人の動きも活発になり、周囲の感染対策を確認しながら、さらなる警戒が必要と考えています。

##### ○町民へのマスクの配布

感染拡大が続く中で、マスクの着用が最も身近に取り組める対策であり、効果のあるものと言われています。

徹底したマスクの着用を勧めるため、今後も、機会あるごとにマスクの配布に努めたいと考えていますし、日常の拭き掃除などにも使用できる消毒用の次亜塩素酸水についても、町の保健福祉課窓口で配布していますので、引き続きご利用願います。

##### ○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

国からの臨時交付金の活用について、第1次及び第2次計画

JR北海道から受ける広域交通に係る拠出金の管理、運用を行う組織が必要ことから、管内7町長を構成員とした「日高地域広域公共交通確保対策協議会」を令和3年2月4日付けで設立し、拠出金の管理に加え日高地域における広域交通の維持・確保についても、同協議会が中心となって協議を進めます。



拠出金に関し、18年間の運行に係る費用、車両購入などは、国の補助を最大限に活用することで20億円以内に収まるとJR北海道の試算や北海道の再度の精査を確認していますし、新規バス車両導入に係る仕様の検討や、支援金からの負担のあり方などについては、令和3年の秋頃を目途に判断していきます。

事業の執行状況を踏まえ、事業の拡充や新たに取り組むべき事業について、令和2年12月25日に開会された第5回臨時議会において予算議決をいただきました。

主な計画事業は、「新冠町巢ごもり暖房費等支援金」として、外出自粛により暖房費負担が増加している町民に対して1世帯1万円の支援金の支給を始め、「新冠町町外学生等応援給付金」及び「新冠町ひとり親世帯支援給付金」の2回目の実施、任意で行うPCR検査の個人負担分に対し3分の2の検査費用補助、町税などの納付が自宅でも可能なスマホ収納の導入、高齢者共同生活施設あいあい荘、特別養護老人ホーム及び青年の家の施設内の空気清浄機の購入、国保診療所における発熱者対応用プレハブ式仮設診察室の設置、特別養護老人ホームの消毒作業徹底を図るための樹脂サッシ化工事、災害時の分散避難に伴う避難所設置事業費、観光とウエディングを合体させ新たな馬産地観光事業に係る観光協会への補助などとなっています。

#### 第3次の臨時交付金

1億53万4千円が国から交付され

#### 3 1月14日発生突風被害について

1月14日午前7時50分頃、低気圧から伸びる寒冷前線の通過に伴い、節婦町地区において突風が発生し建物12棟、車両1台が被害を受けましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。



スクールバス  
節婦第2待合所が全壊

最も大きな被害がスクールバス節婦第2待合所の全壊が1棟、次に大きな被害が民家の車庫の屋根、壁面が飛ばされ半壊が1棟、巻き上げられた飛散物や直接の突風によるものと思われる住宅、物置のガラスや軒天などの破損が10棟、飛散物による車両の破損が1台で、被害総額は100万円となっています。

ることとなりましたが、令和3年度予算に繰り越し、活用します。○巢ごもり暖房費等支援金 支給対象は令和2年12月1日に新冠町に住民登録を有する世帯2738世帯の内、施設に入所し、利用料とは別に暖房費や冬期加算を支払っていない187世帯を減じた2551世帯としています。

支援金は世帯主の申請に基づくものとしており、1月8日に町政事務委託文書や全世帯に対し申請書を直接郵送し周知を徹底、さらに2月8日からは未申請者に対し個別に電話での声掛けをしました。申請された世帯は2464世帯で、申請割合96・59%となっています。

#### 2 JR日高線にかかる取り組みについて

令和3年4月1日からの新たなバス体系について、バスダイヤの調整が整ったことから、バス路線の運行を担うバス事業者において、令和2年12月下旬、北海道陸運局へ路線の認可申請を行っています。バスダイヤは、管内7町それ



民家の車庫が半壊

#### 4 2月15日・16日の低気圧による町内の被害状況等

2月15日、新冠町に暴風雪警報及び波浪警報が発令され、夕方から降り続いた雨は所によって時間雨量10ミリ以上の激しい雨となりました。

この降雨による町の被害は、美宇地区の水道施設で侵入水の排水が間に合わず、ポンプの電子基盤まで水が浸かり、給水ポンプが使用不能となる被害が生じています。

暴風については、静内観測所で16日、平成21年以降、2月の観測史上1番となる最大瞬間風速25・3メートルを記録する暴風となりました。